

| 年  | 月        | 内 容  |
|----|----------|--|
| 昭和 | 13年 4月   | 旧日本海軍が宅地約 13,200 m <sup>2</sup> 、耕地約 1,217,700 m <sup>2</sup> を買収して岩国飛行場の建設に着手                               |
|    | 14年 12月  | 呉鎮守府所属練習隊が配置   |
|    | 15年 7月   | 岩国海軍航空隊が発足   |
|    | 16年 2月   | 偵察練習生教育隊が配置  |
|    | 18年 11月  | 海軍兵学校岩国分校が開校   |
|    | 20年 9月   | 終戦後、米海兵隊が進駐し、基地を接收<br>(基地は次第に拡張され、終戦時には、4,514,400 m <sup>2</sup> に至っていた)                                     |
|    | 21年 2月   | 英連邦空軍(英空軍・豪空軍・英印部隊・ニュージーランドなどの混成部隊)及び米空軍が進駐。基地の主導権を英空軍が握る  |
|    | 25年 9月   | 朝鮮事変の勃発とともに国連軍として英海軍部隊・米空軍及び米海軍部隊の一部が派遣されてきた   |
|    | 26年 9月   | 対日講和条約・日米安全保障条約を締結   |
|    | 27年 4月   | 日米安全保障条約に基づく在日米軍の基地となり、英豪空軍が撤退し、米空軍の基地となる。また、民間空港として開港され、日本航空(株)の東京・福岡線の中継地となる                               |
|    | 27年 6月   | 羽田空港とともに国際空港となる  |
|    | 29年 12月  | 米海軍の基地となる<br>この年、極東航空(株)が大阪・岩国間の就航を開始。他にCAT(中華)、QANTAS(オーストラリア)、KNA(韓国)も使用                                   |
|    | 31年 7月   | 米海兵隊第1航空師団・米海軍第6艦隊航空大隊が移駐(昭27~昭31の間基地施設の拡充が行われ、現在の規模となる)   |
|    | 32年 3月   | 海上自衛隊教育航空群が共同使用を開始   |
|    | 33年 1月   | 米海兵隊に基地の主導権が移り、米海兵隊岩国航空施設となる   |
|    | 37年 7月   | 名称を米海兵隊岩国航空基地(MCAS IWAKUNI)として正式に海兵隊の航空基地となる   |
|    | 39年 12月  | 海上自衛隊教育航空群の代わりに航空自衛隊第82航空隊(F86Fジェット戦闘機25機、T33ジェット練習機6機、隊員約500名)が新田原基地から移駐<br>民間航空が路線の変更を行い、この年以降定期便は就航していない  |
|    | 40年 9月   | F-4Bファントムジェット戦闘攻撃機、A-4Cスカイホーク攻撃機各35機を配備  |
|    | 41年 7~8月 | 米海軍第6艦隊航空大隊にP-3Aオライオン対潜哨戒機9機を配備  |
|    | 42年 12月  | 航空自衛隊第82航空隊が小牧基地へ移駐  |
|    | 43年 6月   | 海上自衛隊第51航空隊岩国分遣隊が開隊  |
|    | 48年 3月   | 海上自衛隊第31航空群(P S-1対潜哨戒飛行艇6機、小型練習機1機、隊員約500名)が開隊(昭48.3~昭49.3 すべり地区約33,000 m <sup>2</sup> を埋め立て、P S-1の駐機場として使用) |
|    | 49年 8月   | 米海兵第513攻撃機中隊が配備(AV-8Aハリヤー垂直離着陸戦闘攻撃機16機)  |
|    | 50年 7月   | 米海軍第6艦隊航空大隊哨戒部隊が三沢へ移駐を開始(P-3Aオライオ  |

|     |       |  |   |
|-----|-------|--|---|
|     |       | ン6機移駐、一部残留)  |   |
| 51年 | 4月    | 米海兵隊第1航空師団司令部が沖縄のキャンプ瑞慶覧へ移駐(隊員約1,000名)   |   |
| 51年 | 6月    | 米海軍第6艦隊航空大隊哨戒部隊が三沢へ移駐完了  |   |
| 51年 | 7月    | 海上自衛隊第31航空群第71航空隊が開隊(US-1救難飛行艇を配備)   |   |
| 52年 | 5月    | 米海兵第513攻撃中隊が米国アリゾナ州ユマ基地へ移駐(AV-8Aハリアー移駐)  |   |
| 54年 | 5月    | 米海兵隊第1航空師団第17師団支援大隊が沖縄へ移駐(隊員約500名)   |   |
| 55年 | 10月   | 愛宕通信所約130,000㎡を岩国飛行場に統合  |   |
| 56年 | 4月    | 第12司令部整備中隊所属のTA-4MスカイホークをOA-4Mスカイホークに機種変更  |   |
| 58年 | 3月    | 第1海兵航空師団兵器部隊(MWWU-1)がグアムアガナ海軍航空基地へ移駐   |   |
| 58年 | 3月    | 海上自衛隊第51航空隊岩国分遣隊が廃止<br>海上自衛隊第31航空群第81航空隊開隊(UP-2J・3機配備)   |   |
| 58年 | 8~9月  | 滑走路補修工事のため滑走路閉鎖  |   |
| 59年 | 2月    | 海兵第2戦術電子戦中隊Z分遣隊(EA-6B・4機)ノースカロライナ州チェリーポイント基地へ移駐  |   |
| 59年 | 10月   | 海兵第2戦術電子戦中隊Z分遣隊(EA-6B・4機)ノースカロライナ州チェリーポイント基地から移駐   |   |
| 61年 | 8~9月  | 滑走路補修工事のため滑走路閉鎖  |   |
| 62年 | 3月    | U-36Aが試験飛行のため、海上自衛隊第31航空群第81航空隊に配備   |   |
| 62年 | 7月    | 米海兵第115攻撃中隊の配備に伴い、F-4ファントムにかわって、F-18ホーネット(12機)が配備  |   |
| 63年 | 4月    | U-36A(2機)が海上自衛隊第31航空群第81航空隊に正式配備   |   |
| 63年 | 5~10月 | 滑走路改修工事のため滑走路閉鎖<br>その間、米海兵第332攻撃中隊等が嘉手納基地ほか海外の基地へ分散移駐(イントルーダー、スカイホーク、ホーネット等74機)<br>海上自衛隊も八戸、下総、徳島基地に移駐(UP-2J、U-36A・6機) |   |
| 63年 | 9月    | 米海兵第12飛行大隊と第15飛行大隊が統合され、第15飛行大隊が廃止   |   |
| 63年 | 11月~  | 海上自衛隊第1航空群移動部隊(P-2J・5機)が滑走路改修のため、  |   |
| 平成  | 元年    | 5月   | 鹿屋航空基地から岩国基地へ一時移駐                                     |
|     | 元年    | 3月   | PS-1用途廃止に伴い、第31航空隊が解隊                                 |
|     | 元年    | 6月   | 米海兵第331攻撃中隊の配備に伴い、A-4Mスカイホークにかわって、AV-8BハリアーII(14機)が配備 |
|     | 元年    | 9月   | 海上自衛隊掃海ヘリコプター部隊第111航空隊が、V-107(2機)を伴い移駐                |
|     | 元年    | 12月  | 海上自衛隊へMH-53Eの一番機が飛来                                   |
|     | 3年    | 10月  | 米海兵第214攻撃中隊(AV-8BハリアーII・ナイト・アタック20機)がアリゾナ州ユマ基地から移駐    |
|     | 3年    | 11月  | 海上自衛隊第81航空隊にEP-3(2機)が初配備                              |
|     | 3年    | 12月  | 海上自衛隊第81航空隊にLC-90(1機)が配備                              |

|     |      |   |
|-----|------|---|
| 4年  | 3月   | 米海兵第121全天候戦闘攻撃中隊（F A-18Dナイト・アタック・ホーネット）がカリフォルニア州エルトロ基地から移駐<br>米海兵第224全天候攻撃飛行中隊（A-6E11機）がノースキャロライナ州チェリーポイント基地に帰還<br>B-65（1機）が海上自衛隊第81航空隊から除籍 |
| 4年  | 7月   | 米海兵第2戦術電子戦中隊X分遣隊（EA-6Bプラウラー6機）が米海兵第1戦術電子戦中隊になった<br>海上自衛隊第8航空隊の新編に伴いP-3C（3機）が配備  |
| 5年  | 3月   | P-3C10機目が当初配備計画通り配備   |
| 8年  | 5月   | AV-8BハリアーII（14機）が米国に帰還  |
| 9年  | 6月   | 滑走路移設工事に着手  |
| 10年 | 12月  | 海上自衛隊第31整備補給隊新編   |
| 11年 | 2～4月 | 滑走路補修工事のため滑走路閉鎖   |
| 11年 | 4月   | 海上自衛隊第81航空隊にUP-3D（2機）が配備  |
| 13年 | 3月   | 海上自衛隊第8航空隊廃止<br>海上自衛隊第81航空隊改編<br>海上自衛隊第91航空隊新編  |
| 13年 | 9月   | HH-46Dシーナイトヘリコプター（3機）が米国に帰還   |
| 14年 | 2～3月 | CH-53Dシースタリオンヘリコプター（8機）が配備  |
| 14年 | 3月   | 海上自衛隊第81航空隊にOP-3C（1機）が配備<br>海上自衛隊岩国システム通信分遣隊新編<br>海上自衛隊第31航空群の改編（江田島の第11海上訓練指導隊が標的機整備隊と改称し、第31航空群の隷下に入る）（江田島）                               |
| 17年 | 9月   | LC-90連絡機が装備変えで海上自衛隊第91航空隊から厚木基地へ移動  |
| 19年 | 3月   | 海上自衛隊第71航空隊にUS-2が部隊配備   |
| 19年 | 9月   | 米海軍第14掃海ヘリ中隊に所属するMH-53E型ヘリ2機から成る第1分遣隊が臨時展開により岩国基地に到着  |
| 20年 | 3月   | 海上自衛隊第111航空隊にMCH-101（2機）、CH-101（1機）が配備  |
| 20年 | 10月  | 臨時展開していた米海軍第14掃海ヘリ中隊のMH-53E型ヘリ2機が離日   |
| 21年 | 5月   | CH-101（1機）が海上自衛隊第111航空隊からしらせ飛行科へ所属変更  |
| 22年 | 5月   | 滑走路を約1,000m沖合へ移設する工事が完成し、新滑走路の運用開始  |
| 23年 | 3月   | 滑走路移設事業の完了  |
| 24年 | 7月   | 普天間飛行場に配備するMV-22オスプレイ（12機）が岩国飛行場に陸揚げ  |
| 24年 | 10月  | MV-22オスプレイ（12機）が岩国飛行場から普天間飛行場に移動完了  |
| 24年 | 12月  | 民間用の岩国錦帯橋空港開港。（羽田-岩国間をANA1日4往復運航）   |
| 25年 | 7月   | 普天間飛行場に配備するMV-22オスプレイ（12機）が岩国飛行場に陸揚げ  |
| 25年 | 9月   | MV-22オスプレイ（12機）が岩国飛行場から普天間飛行場に移動完了  |
| 26年 | 8月   | 米海兵隊第152空中給油輸送中隊（KC-130J・15機）が普天間飛行場から移駐  |